

(2) 鋼鉄船塗り絵

A 主に小中学生

B 「こどものための三岸好太郎展」会期中（平成 29 年 7 月 1 日～8 月 27 日）

C 306 名

D 三岸好太郎には「黄色い鋼鉄船」という詩がある。仮にその詩を絵にしたら、どんな黄色になったのだろうか？また、黄色の表現効果を高めるために、三岸だったらどんな色と組み合わせたのだろうか？鑑賞者は黄色が使われた複数の三岸作品を見た後、鋼鉄船のイラストに自分がふさわしいと思う黄色などを塗り、掲示するものとして開発した。ひとつのボードに多数の参加者が掲示することから、参加者は他の参加者の塗り絵と比較することが可能であるとともに、会期の進行とともに船が増えていく様子を楽しんでもらうことができた。

